

入場
無料

公開シンポジウム

— これからのいのちと健康と生活をまもる(第3回) —

食・生活から健康を考える

日時： 2018年8月23日(木) 13時30分～16時00分

場所： 東北大学川内北キャンパス

マルチメディア教育研究棟 2F マルチメディアホール
〒980-8576 仙台市青葉区川内41



～プログラム～

はじめに…………… 熊谷 日登美

(日本大学・日本学術会議第二部会員・IUFoST-Japan理事)

食・生活から見た健康に係わる課題……………藤原 葉子

(お茶の水女子大学・日本学術会議連携会員)

食による睡眠の質の改善……………清水 誠

(東京農業大学・IUFoST-Japan理事長・日本学術会議連携会員)

食による運動機能の改善……………藤田 聰

(立命館大学スポーツ健康科学部)

食生活リズムと健康……………大池 秀明

(農研機構食品研究部門)

おわりに……………多久和 典子

(石川県立看護大学・日本学術会議第二部会員・日本生理学会理事)

本シンポジウムでは、食による睡眠の改善、食による運動機能の改善、食物摂取のタイミングの重要性といった、最近注目されている話題を取り上げます。「何をどう食べるか」が私たちの健康を大きく左右すること、またそのメカニズムについて、それぞれ第一人者の講師の方々が一堂に会してお話しitただく貴重な機会となります。どなたでもご参加いただけます。

シンポジウム司会者代表

熊谷 日登美(日本大学・日本学術会議第二部会員・IUFoST-Japan理事)

多久和 典子(石川県立看護大学・日本学術会議第二部会員・日本生理学会理事)

清水 誠(東京農業大学・日本学術会議連携会員・IUFoST-Japan理事長)

主催：日本学術会議 健康・生活科学委員会
IUFoST-Japan(国際食品科学工学連合ー日本支部)
日本食品科学工学会

後援：日本生命科学アカデミー